

卓 話

平成 24 年 3 月 27 日

『Eロータリーとは』

日本ロータリーEクラブ2650
片山暁様

本日は名門岐阜中クラブへ卓話ということでお邪魔をさせていただきました、日本ロータリーEクラブ 2650 の片山暁と申します。また、本日は岐阜在住の会員で副会長福地博、SAA 澤田収会員と大塚裕雅、堀江大典、江口成美もメイクアップにお邪魔いたしました。失礼な発言があるかもしれませんが、友情に免じてお許しをいただきたく思います。



さて、Eクラブというと、「パソコンでチョコチョコと書いてメイクアップはおかしい」「パソコンで親睦ははかれない」「あんなものはロータリーではない」などのご意見をよく聞きます。それは「群盲象をなでる」と同じ事で、一部分の情報でしかありません。まず、Eクラブというのは規定審議会を経て、各地区に2つのクラブの設立が許可され、それに則り 2650 地区において日本で初めての Eクラブが 2011 年 6 月 30 日に RI より認証をされました。創立時の会員は 38 名で北海道 2 名関東 8 名中部 9 名関西 19 名という陣容で 12 月にチャーターナイトを開催し、現在は 44 名の会員になりました。会員の義務は、例会の出席、会費の納入、機関誌の購読と同じであります。違うのは例会場がパソコンということになります。いつでも、世界中どこでも、24 時間例会場は開かれております。

しかし、通常のクラブの例会と違うのは会長挨拶 20 分、委員会報告 10 分程度、本日のプログラム 20 分～30 分をきちんと聞き、それに対しての感想を述べなければ出席にはなりません。メイクアップも同じように結構大変です。会費は、入会金 3 万円年会費 6 万円と格段に少ない費用で運営をしています。これは事務局、そして食事、例会場の費用などが掛からないからです。親睦活動は地域情報集会という手法で、北海道、関東、中部、関西と別れて、多いところは毎週、ほぼ 1 か月に 1～2 回の開催で親睦をはかっております。当然どこの集会も参加可能です。また、奉仕事業も、地域別、個人と行い、岐阜地区では、本巣の席田小学校の PTA の保護者 40 名と教育委員会から 4 名の参加をいただき、携帯電話の安全教室を開催いたしました。

会員の減少が続いている現在のロータリー、そして高齢化が続いている現在では新しい試みとしての Eクラブは大変意義のあるチャレンジと考えております。ダーウィンの種の起源には「生存競争には強いもの、賢いものが生き残るのではなく変わりうるものが生き残る」とあります。ロータリーの理念は不易なるものですが、実践の方法は常に新しい時流に即したものでなければなりません。

どうぞ皆様も、私どもの HP へお越しになり、実感として Eクラブを体験していただけますようお願い申し上げます、卓話といたします。

『日本ロータリーEクラブ2650』 <http://rotaryclub2650japan.org/>